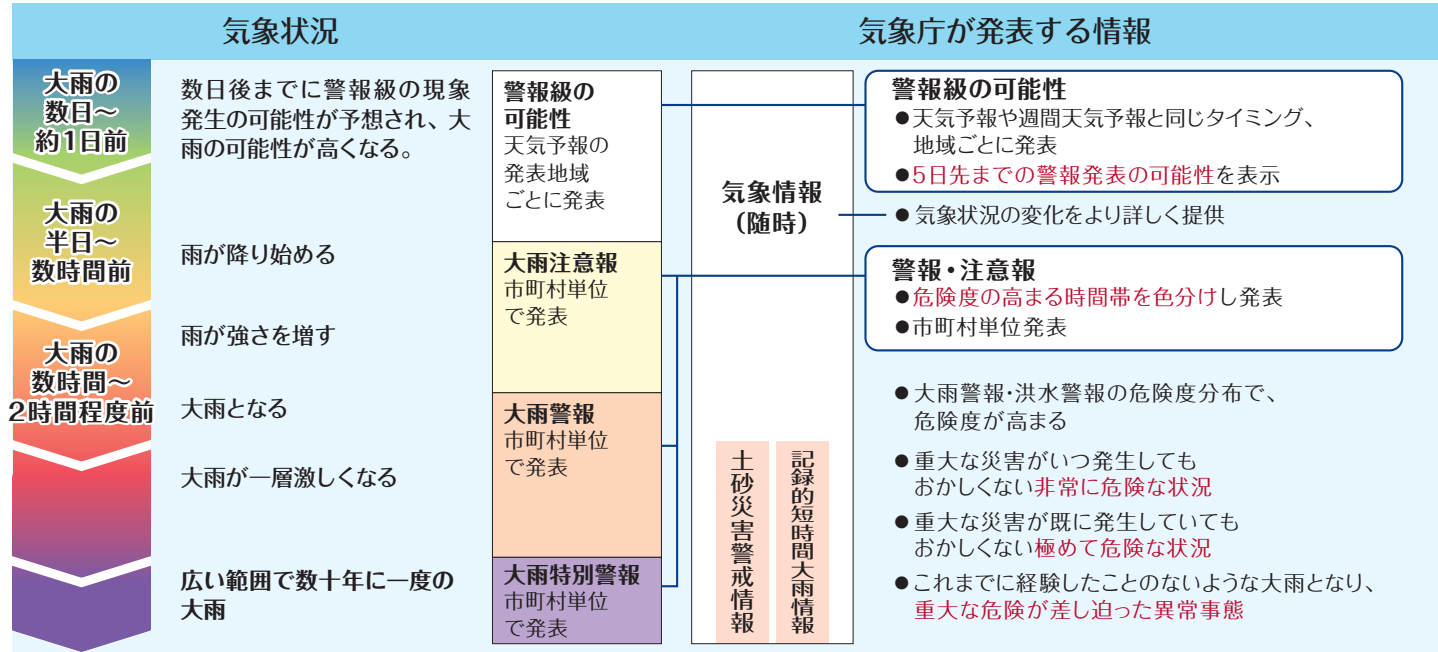


## 大雨・洪水に関する情報

### 発表する情報と具体的な活用例 — 大雨の場合

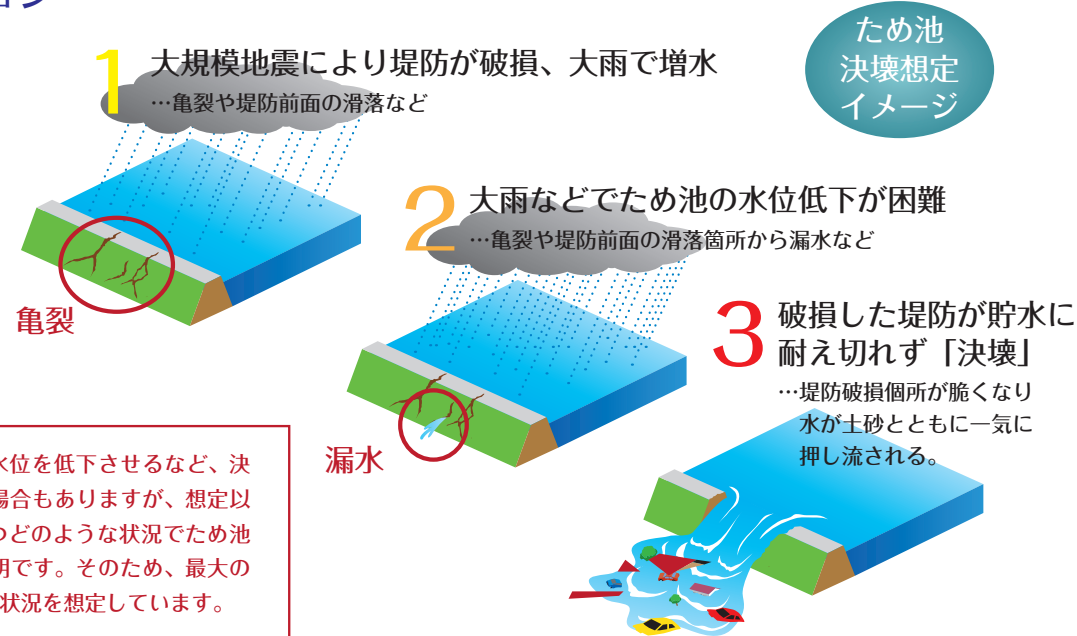


気象庁では気象警報・注意報に関する情報を公開しています ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

## もしも、ため池の堤防が壊れたら

### 氾濫シミュレーション

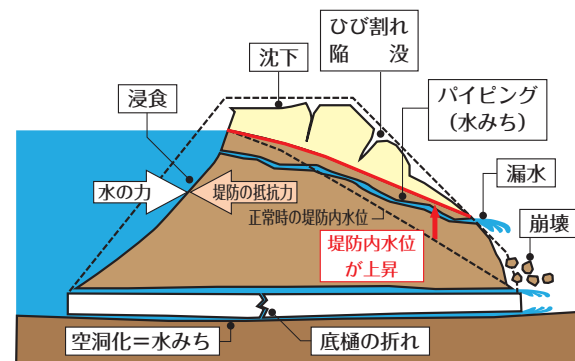
本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。



ため池  
決壊想定  
イメージ

緊急事態においては、ため池の水位を低下させるなど、決壊を防ぐための処置が行われる場合がありますが、想定以上の大災害が発生した場合、いつどのような状況でため池が決壊してしまうかどうかは不明です。そのため、最大の貯水量があふれるような、最悪の状況を想定しています。

### ため池が危険なとき



#### 大雨時

- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

#### 地震時

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合



# 安宅地区 ため池ハザードマップ



安宅地区ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊するおそれのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

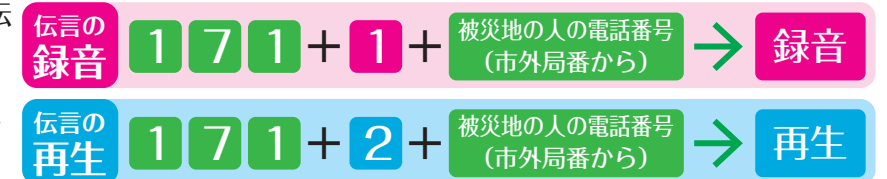
## 緊急時の連絡先

行政機関	連絡先	電話番号	ライブライン	連絡先	電話番号
白浜町消防本部		0739-43-0119		白浜町役場 / 上下水道課	0739-45-2000
白浜警察署		0739-43-0110		【電気】会社名:	
白浜町役場		0739-43-5555		【電話】会社名:	
白浜町役場 / 農林水産課		0739-45-0009		【ガス】会社名:	
紀南病院 (救急告示医療機関)		0739-22-5000			
南和歌山医療センター (救急告示医療機関)		0739-26-7050			
白浜はまゆう病院 (救急告示医療機関)		0739-43-6200			

※【電気】・【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

## 災害用伝言ダイヤル (171)

[171] をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。



災害用伝言ダイヤル (171) は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

## わが家の防災メモ

家族で話し合って記入してください。

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 / 会社・学校の連絡先



# 和歌山県西牟婁郡白浜町 安宅地区ため池ハザードマップ

このハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測によるものです。  
 ※災害の状況によっては表示されている範囲以外においても被害が発生する可能性があります。

池名	堤高,m	総貯水量,m <sup>3</sup>	プール,杯	浸水範囲	備考
深田池	4.0	36,000	60		—

※プールは600㎡(25mプール)で換算

**凡例**

- 対象ため池
- 破堤地点
- 浸水到達ライン

**浸水深の目安**

- 2階の軒下までつかる程度5.0m▼
- 1階の軒下までつかる程度2.0m▼
- 大人の腰までつかる程度1.0m▼
- 大人の膝までつかる程度0.5m▼

**浸水深**

- 5.0m以上
- 2.0~5.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.5m未満

**自宅に留まることも選択肢の一つ**  
 浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、2階へ避難するというのも選択肢の一つです。

**避難をする時に注意すること**

○**ため池決壊以外の災害も意識する**  
 ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で下図のような災害も発生している可能性があることに注意して避難しましょう。

『大雨のとき』に想定される災害

『地震のあと』に想定される災害

○**危険な場所は避ける**  
 できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避け、安全な広い道を選んで避難しましょう。

○**浸水し始めたら無理をしない**  
 歩ける水深の目安はひざくらいまでです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理はしないようにしましょう。

